

385 地域の安全と農業の事業継続を守る“日々の地道な点検”

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
両総土地改良区 【平成 29 年】	6700150015960	その他事業者 【農業，林業】	千葉県
<ul style="list-style-type: none"> ● 千葉県の両総土地改良区は、平成 27 年、非常時における業務継続の措置を取りまとめた。下総台地と沖積低地（利根川・栗山川沿岸及び九十九里平野）からなる同土地改良区では、高低差を活かした灌漑を行っており、特に揚水機場やパイプラインからの漏水による被害を防ぐことに重点を置いている。 ● 台地部における農業用施設の決壊や漏水は、低地部などに対して大きな二次被害をもたらす可能性がある。加えて、同土地改良区は千葉県の水田約 20%を灌漑しており、送水施設が長期的に稼働を停止した場合、農業生産に対して甚大な影響が出る懸念される。 ● このため、同土地改良区では、農業用水の送水設備の保全に重点をおいた業務継続計画をとりまとめるとともに、年 2 回の防災訓練を行い、非常時の業務レベル向上や職員の防災対応能力の向上を図っている。 ● また、防災意識を根付かせ、非常時における職員の対応能力を向上させるためにも日々の地道な点検が防災上の最も重要なプロセスとして捉えている点が同土地改良区の特徴の一つである。 			
			
			▲避難訓練の様子